

2026年度 中小企業支援担当者等研修 上級研修
支援担当者(金融機関等)向け
伴走型創業支援の進め方

研修のねらい・内容

支援者として多様化する創業に対応していくためには、事業者との対話と傾聴を通じて信頼関係を構築し、創業者の潜在力を見極め、自走化できる創業を目指す、いわゆる「伴走型創業支援」を理解する必要があります。

本研修では、伴走型創業支援に必要なスキルと知識を体系的に学び、創業計画から創業後のフォローといった各フェーズに応じた創業支援手法について、ロールプレイングやケース演習を通じて実践的に学んでいただきます。

研修の特長

- ☑ 創業準備から創業後のフォローまで、各フェーズに応じた創業支援手法が身につく！
- ☑ 支援者の関わり方について実際の創業支援事例から学べる！
- ☑ ワークショップやケース演習を通じて、伴走型創業支援に必要なスキルが実践的に習得できる！

研修期間

2026年 9/8(火)～11(金)
(4日間・24時間)

対象者

中小企業・小規模事業者の支援に携わる
▶ 商工会・商工会議所等の支援機関の方
▶ 金融機関職員、中小企業診断士、その他専門家等で、認定経営革新等支援機関の方
▶ 今後、中小企業支援を目指す方

中小企業診断士の方は、中小企業診断士更新の対象となります。(理論政策1ポイント)

定員 20名

受講料 23,000円(税込)
※受講料は変更になる場合があります。

会場・お問合せ先

中小企業大学校東京校 BusiNest

東京都東大和市桜が丘2-137-5

※受講申込についてのお問い合わせ
受講申込受付センター TEL03-5422-1161
※研修内容についてのお問い合わせ
東京校支援研修課 TEL042-565-1270

月日	科目	内容
9/8(火)	創業支援の概要 創業機運醸成ワーク ショップ 創業支援事例フィード バック	創業支援の全体像や必要なスキル、支援の目利きなどについて理解していただきます。 創業機運醸成の企画演習を通じた創業を後押しする支援、実際の創業者と支援者から、事例を通じて支援のあるべき姿を学びます。
9/9(水)	伴走型創業支援の概要、 必要な知識とスキル	創業者の気づきと内発的動機付けを促す伴走型創業支援の特徴やポイントを学び、信頼関係の構築や合意形成など、支援に必要な知識とスキルを習得します。
9/10(木)	伴走型創業支援の実践、 多様な創業に対応した 支援スキルの習得(演習)	支援の見立てや支援計画の作成など具体的な支援プロセスを学び、社会・地域課題解決型や副業兼業など多様な創業ケースを題材に、演習形式で支援スキルを習得します。
9/11(金)	総合ケース演習	創業支援の総括として、実際の創業者のケースを用いてロールプレイング等を行いながら、総合的に学びます。

※開講時間は各日9:40～16:40です。初日のみオリエンテーションを含む9:40～17:00となります。
※休憩時間(各日1時間)を含みます。また、カリキュラムは変更になる場合がございます。

講師紹介(敬称略)

高木経営相談所 代表
高木 伸治(たかぎ しんじ)

地域金融機関勤務後、2012年に経営コンサルタントとして独立。独立後は支援機関とともに、小規模事業者・中小企業の支援に取り組んでいる。現状分析や計画作成に伴う戦略策定のサポートを得意とし、経営革新計画やサポイン事業の認定支援実績を持つ。
中小機構中小企業アドバイザー・経営革新等支援機関・中小企業診断士。

ふじたクリエイティストスタジオ 代表
藤田 有貴子(ふじた ゆきこ)

慶應義塾大学大学院経営管理研究科修了。シンクタンク(行政連携)、事業会社、IT企業等を経て独立。公共・民間・研究者発・大学発スタートアップ、NGOの現場で、創業、新規事業、マーケティング、プロジェクトマネジメントに従事。壁打ちによる価値提案の整理、事業・数値・実行計画への落とし込み、エフェクチュエーションやナラティブを活用した伴走支援を専門とする。商工会議所・自治体等で創業支援、事業計画、人材・チームづくり等のセミナー・研修講師を務める。